

## 都心を育てる“文化”の醸成について

## ■ 中間まとめ案（序章）におけるポイント ■

## 計画改定の背景（千代田区の役割）

- ◇江戸城とその城下町をルーツとする密な都心空間の中で我が国の中枢機能が集積する一方、首都の風格や個性ある界隈の魅力が各所で生まれ、ひとのつながりと生業、暮らし、**文化を創造**
- ◇将来世代が楽しみながら、都心の風格と調和したイノベーションを起こし、住み、働き、滞在・交流することを面白くしていけるような**創造的な都心のまちづくり**を先導する「未来創造のフロントランナー」

## 改定の目的

- 江戸を起点とした都心の魅力・価値・可能性を見直し、進化を継続
- ⇒都心の中枢機能や都市基盤の進化
  - ⇒多様性の集積のなかから育つ**創造性**・可能性を活かす
  - ⇒**界隈の魅力と資源、そこに宿る様々な力**を引き出す

## 都市計画・まちづくりを包含する“文化”

- まちの文脈やひとのつながりのなかで、時間の積み重ねによって熟成されてきた場の力、界索性や暗黙知（規範等）を尊重・配慮し、活かしていく意識やマナー（粋・ノブレスオブリージュ）、行動（活動）、魅力
- トータルな都市・まち・エリアのデザインやマネジメント



## 文化振興の対象とする“文化”の要素

- 【千代田区文化芸術基本条例（前文）】の抜粋
- 基礎：江戸時代からの成熟した文化
  - 継承：特色ある文化芸術
    - ・千代田区独自の地域文化
      - ：多数の有形無形の文化財や歴史的な建物、街並み・景観、史跡
      - ：祭りなどの行事

## 中間まとめ（案）における“文化”と“創造する力”に係る記述

理念	歴史に育まれた豊かな <b>都心環境</b> ／次世代に継承
将来像	歴史と <b>文化</b> 、ひと、まち、コミュニティがつながる／未来につづく首都東京の <b>価値創造</b> をつなげる
土地利用の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市の骨格軸や拠点の育成と魅力ある街並み・空間の<b>トータルなデザイン</b>と活用</li> <li>・大規模な機能更新と建替え、リノベーション等が相互に連携し、<b>まちの文脈</b>にそった再生を戦略的に展開</li> </ul>
分野1（住環境）	・まちの固有の味わい、賑わい、 <b>文化をつなぐ街並み</b> ・市街地環境の継承・進化
分野2（水と緑）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都心生活の価値を高める多彩な緑と水辺空間の再生・創出と活用</li> <li>・<b>オープンスペースから考えるまちづくり</b></li> </ul>
分野3（景観）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>都心の風格</b>の継承・創造</li> <li>・地形の特徴や地域資源等を活かした<b>景観の保全、形成</b></li> <li>・<b>界隈の個性</b>を活かした魅力再生・継承</li> </ul>
分野4（交通）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>界隈の回遊</b>を楽しむまちづくり</li> </ul>
都市マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 都心の力を創造的に活かす協働のまちづくり           <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な主体との連携・協働・合意形成を図ることが重要</li> </ul> </li> <li>(2) 地域まちづくりの推進           <ul style="list-style-type: none"> <li>〔歴史を継承し最先端を歩む千代田区ならではのエリアマネジメント〕</li> <li>・多様な人々の交流と創造の大きな力が生まれている</li> <li>・都心に集まり活動するひとの力と多様性を効果的に活かせるよう、幅広く人材を発掘・育成しながら、仲間作りや活動のスタートアップを効果的に応援</li> </ul> </li> <li>(3) 継続的なまちづくりの改善・進化           <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な主体がまちづくりについて議論できる都市づくりの情報のプラットフォームを構築</li> </ul> </li> </ul>